



## 令和5年度衣浦港振興会通常総会を開催 新会長に松石奉之・半田商工会議所会頭を選任

衣浦港振興会は5月15日(月)、碧南商工会議所において、通常総会を開催しました。

来賓、会員約100名が出席する中、令和4年度の事業報告・収支決算、令和5年度の事業計画・収支予算、令和5・6年度の役員選任、顧問・参与委嘱について原案どおり承認されました。議事に先立ち、長田和徳会長(碧南商工会議所会頭)はあいさつの中で、「衣浦港は中部地域の「ものづくり産業」を下支えする重要な役割を担う港となっており、これまでの歴史の背景には、衣浦港を取り巻く経済界が、関係市町と共に、強く要望活動を行い、国や港湾管理者である愛知県に対して、会員の皆様の声がしっかりと届いた証であると思っています。臨海部を中心に、特定外来生物への対策、水害や地震などの大規模な自然災害への備えを怠ることはできません。加えて、低炭素社会に向けた、荷役機械の電動化等にも積極的な対応が必要となります。令和4年度より、港湾管理者である愛知県が進める、衣浦港カーボンニュートラルポート形成計画の策定に向けた取り組みへも、当振興会としても積極的に参画しており、本年度も引き続き、計画の策定に参画していきます」とあいさつしました。

また、役員任期満了に伴い、新会長に選任された松石奉之会長(半田商工会議所会頭)が、「衣浦港が湾地域のみならず、背後地域の産業活動を支えている大変大きな影響力と可能性を持った港湾であることを認識しています。港湾整備には10年単位の歳月が必要であり、更に整備後の供用と経済発展を実現するには、その先の5年10年が必要だと思っています。衣浦港が更に成長している港として、引き続き力を発揮できるよう、役員、会員各位、関係機関が一体となって、振興策に取り組むことが必要と考えています」とあいさつし、理解と協力を求めました。



松石奉之会長

正副会長

- |       |      |                   |      |                 |
|-------|------|-------------------|------|-----------------|
| ■ 会長  | 松石奉之 | 半田商工会議所 会頭        |      |                 |
| ■ 副会長 | 長田和徳 | 碧南商工会議所 会頭        | 浅野 皇 | 半田港運(株) 代表取締役社長 |
|       | 谷川勝哉 | (株)JERA碧南火力発電所 所長 | 中山友裕 | (株)七番組 代表取締役    |



# 令和5年度 衣浦港振興会事業計画

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

衣浦港は、昭和32年に「重要港湾」に指定されて以来、66年が経過、平成22年には、全国の43港が指定を受けた新規の直轄港湾整備事業の着手対象となる「重点港湾」にもなり、これまで着実に港湾整備が進められている中で、今後も背後地域の物流・生産活動を支える工業港として、重要な役割を果たすべく各種事業を推進します。

また、会員相互の連携と組織の充実をもって、広く衣浦港の果たしている重要な役割について、理解が得られるよう努め、さらに、自然災害等に対応した港湾施設の対策、老朽化した施設整備の更なる推進、内陸交通機能と連携した利用促進策を図り、充実した港づくりに努めるべく、関係機関と連携し、下記の事業に取り組みます。

## 1. 地域経済社会活性化のための施策提言・要望活動の積極的推進

重点港湾として今後大きな役割を果たすべく、港湾計画の早期実現や衣浦港外港地区(衣浦ポートアイランド)への国際物流ターミナル建設、流通振興に向けた内陸交通機能との連携、老朽化した港湾施設の耐震対策等の要望活動を積極的に推進します。



要望活動

## 2. カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画の推進

脱炭素社会の実現に貢献するため、水素・燃料アンモニア等の次世代エネルギーの輸入や貯蔵等を可能とする受入環境の整備、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化など、カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画の策定に積極的に参画します。

※「カーボンニュートラル(CNP)形成計画」は令和5年7月24日より「港湾脱炭素化推進計画」に移行しました。

## 3. 衣浦港港湾計画改訂の推進

国際港湾として、効果的な開発と利用の促進、経済・社会の変化を反映させた衣浦港港湾計画改訂に向けて、港湾機能強化、資源循環型産業の誘導に努めます。

## 4. 企業・行政・地域連携による防災力向上の推進

災害時における被害・損失回避のための防災・減災の仕組みづくり、事業継続計画、地域全体の機能維持へ向けての調査研究を行います。

## 5. 広域的活動の展開

衣浦港発展に向け、背後地域及び、三河港・名古屋港等との広域連携を含めた利用促進に努めます。

## 6. 港湾美化の推進

沿岸住民の親水性を向上させるため、港湾および港湾施設の美化の推進・啓蒙を行います。

## 7. 組織の活性化

港湾振興への取り組みを支える組織の活性化と財政基盤の確立を図るため、会員加入の促進に努めます。

## 8. 会員親睦と見識高揚

会員相互の親睦と見識を高めるため、講演会、研修会、懇談会の開催および先進港湾等の視察会を開催します。

## 9. 啓蒙事業の推進

衣浦港の現状や将来計画を広報し、会員相互の連携と意識の高揚に努めるとともに、衣浦みなとまつり等沿岸住民の港づくりの参加事業を積極的に推進し、ポートセールスに努めます。



衣浦港講演会

## 10. その他

本会の目的達成に必要な事項を実施します。



## 就任のごあいさつ



愛知県衣浦港務所  
所長 青木清人氏

日頃は、愛知県港湾行政とりわけ衣浦港の発展のため、ご理解、ご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

衣浦港では、複数のバイオマス発電所が稼働しており、今後も木材チップなどの輸入増加が見込まれ、保管用地不足が危惧されております。このため、中央ふ頭西地区の新たなふ頭用地造成を進めており、護岸工事を行うとともに、今年度から土砂の受入れを開始しております。

一方、埋立てがほぼ終わった外港地区衣浦ポートアイランドにおいて、港奥部に混在する木材チップなどのバルク貨物の集約化や船舶の大型化に対応できる物流拠点施設を整備していきたいと考えております。さらには、臨海部の交通量増大による渋滞を解消し、物流の円滑化を図るため、臨港道路武豊線、武豊美浜線の4車線化にも取り組んでまいります。

また、防災面におきましては、ハード整備として災害発生時の被害を最小限に留めるため、半田地区（半田市）及び平坂地区（西尾市）におきまして、海岸堤防の耐震化のための整備を引き続き行っております。

ソフト対策としては、衣浦港BCPにつきまして、今年度も引き続き、協議会やワークショップでの意見交換、図上訓練及び実地訓練の活動などを通して、計画の見直しを行いその実効性をさらに高めてまいります。

また、衣浦港では、国内最大級の火力発電所による燃料アンモニアの大規模な混焼実証事業や、臨海部に多数立地するバイオマス発電など、民間企業の脱炭素化に向けた取組が活発に進められています。このような取組を今年度内の作成を目指す「港湾脱炭素化推進計画」に位置付けてまいりますので、計画の推進にあたっては、ご協力をよろしくお願いいたします。

今後も発展が期待される衣浦港では、知多・西三河地域をはじめとする愛知県の産業を支える物流拠点としての役割を果たすため一層の機能強化に取り組んでまいりますので、皆様方のお力添え、ご協力をお願いします。

青木清人（あおき きよひと）

昭和38年生まれ。愛知県入庁。県民文化局、防災安全局を経て令和5年4月現職。名古屋市在住

## 愛知県へ港湾整備を要望

衣浦港振興会は6月1日（木）、愛知県庁にて衣浦港を取り巻く市町で構成する衣浦港整備促進期成同盟会（禰亘田政信会長／碧南市長）と合同で愛知県への要望会を開催。当会から松石会長をはじめ長田副会長、浅野副会長、谷川副会長、中山副会長らが出席しました。

愛知県より、坂田一光都市・交通局長をはじめとする幹部職員、市町選出の県議会議員が出席。会の冒頭、衣浦港側より整備促進に関する要望書を坂田局長へ手交した後、出席者を代表して、市町より禰亘田碧南市長、久世半田市長、初山武豊町長、八谷美浜町長、当会より松石会長、長田副会長が、14項目にわたる具体的な要望内容のポイントについて説明しました。

坂田局長は衣浦港側の要望に関し、各項目の整備の進捗・今後の考えについて回答。①外港地区の新たなふ頭整備、②中央ふ頭西地区のふ頭用地造成、③臨港道路武豊線・武豊美浜線の4車線化整備、④臨港道路知多西三河線の早期実現、⑤衣浦港港湾脱炭素化の推進、⑥海岸保全施設の改修、⑦浚渫土砂等の海面処分用地の確保と埋立地における土地利用の検討について、国をはじめとする関係機関の協力を得ながら適切に対応していく旨、述べられました。

### 1. 国際競争力強化のための港湾整備の推進

新たなふ頭整備による物流機能の強化及びCNP形成の推進

### 2. 計画的な防災・減災対策の推進

切迫する巨大地震や激甚化・頻発化する風水害への対応と安全・安心を確保するための改良

### 3. 賑わいのあるみなとづくりの推進

みなとの魅力を活かした親しまれる港湾空間の創出と次世代に繋げるための環境保全の推進





## 令和5年度 衣浦港振興会建設部会通常総会を開催 新部会長に中山友裕氏を選任

衣浦港振興会建設部会(木村徳雄部会長/木村建設(株))は5月15日(月)、碧南商工会議所にて通常総会を開催し、会員20名が出席しました。

木村部会長は、あいさつの中で「衣浦港を囲む広域的な団体である当建設部会は、コロナ禍ではありますが、対策を講じて昨年度は、沖縄県へ港湾視察研修会に行くことができました。大変有意義で充実した研修会であり、今後も続けていきたいと思っております。本日を以って会長職を辞するが、無事2年間会長職を務められたのも会員皆様のご理解とご協力によるものです」と感謝の意を述べました。

議事では、令和4年度事業報告・収支決算、令和5年度事業計画・収支予算が原案通り承認可決されました。また、任期満了に伴う役員改選が行われ、中山友裕氏(株七番組/半田市)が新部会長に選任されました。中山新部会長は、「今後とも皆様方のご協力をお願いします」とあいさつ。部会活動への協力を呼びかけました。任期は2年。



中山友裕部会長

### 正副部会長

- |       |           |      |
|-------|-----------|------|
| ■部会長  | (株)七番組    | 中山友裕 |
| ■副部会長 | 木村建設(株)   | 木村徳雄 |
|       | 石橋建設興業(株) | 角谷圭祐 |
|       | 八洲建設(株)   | 水野貴之 |

## REPORT

### 衣浦みなとまつり花火大会 4千発の花火が衣浦港の夜空を彩る



衣浦みなとまつり花火大会実行委員会・碧南市・碧南商工会議所は7月22日(土)、碧南市制75周年記念・衣浦みなとまつり花火大会を開催。約6万5千人(碧南市側4万人、半田市側2万5千人)が来場しました。

衣浦港中央ふ頭海上を打ち上げ場所として開催。全国花火競技大会で最高賞の受賞実績を持つ老舗煙火店が手掛ける創作花火や華やかなスターメインなど約4千発が夏の衣浦港の夜空を彩りました。

令和5・6年度は

事務局が半田商工会議所です

〒475-0874 半田市銀座本町1-1-1  
(半田商工会議所内)

TEL.0569-21-0311

FAX.0569-23-4181

URL <http://www.handa-cci.or.jp>

E-mail [info@handa-cci.or.jp](mailto:info@handa-cci.or.jp)



発行/衣浦港振興会

